

(仮称)  
かほく市総合体育館整備基本構想

平成31年2月

かほく市教育委員会

## 1) 施設整備の背景

平成 23 年「スポーツ基本法」が成立し、「スポーツは、世界共通の人類の文化である」として、スポーツの価値や意義、スポーツの果たす役割の重要性が示されました。

その基本理念の中に、「スポーツを身近に親しむことができるようにするとともに、スポーツを通じて地域すべての世代の人々の交流が促進され、かつ地域間交流の基盤が形成されなければならない」としています。

かほく市では、市民が日常的にスポーツを楽しみ、交流できる拠点施設、高齢者や障がい者、子育て世代にやさしいバリアフリーに対応したスポーツ施設、競技スポーツ、プロスポーツのニーズにこたえる機能の高い施設が必要となっています。

## 2) 既存施設の概要

### ア) 河北台健民体育館

延床面積 4,135.78 m<sup>2</sup> 建築後 41 年経過

敷地面積 約 5,000 m<sup>2</sup>

体育館フロアの寸法 32m×57m 観客席なし 天井高さ H=11.5m

#### ◆主なコート配置

- ・バスケットボール 2 面 (余裕幅 1.5m)
- ・バレーボール 3 面
- ・バドミントン 12 面
- ・卓球 24 面

#### ◆その他

- ・ランニングコース 1 周 180m
- ・トレーニングセンター、スタジオ、会議室など

### イ) 七塚武道館

延床面積 2,276.70 m<sup>2</sup> 建築後 34 年経過

敷地面積 約 3,700 m<sup>2</sup>

#### ◆主な機能

- ・柔道場 2 面
- ・剣道場 2 面
- ・相撲場 1 面
- ・弓道場 (近的 6 人立・遠的 3 人立)

ウ) 駐 車 場 約 4,000 m<sup>2</sup> = 130 台 (両施設共用)

### エ) 利用状況

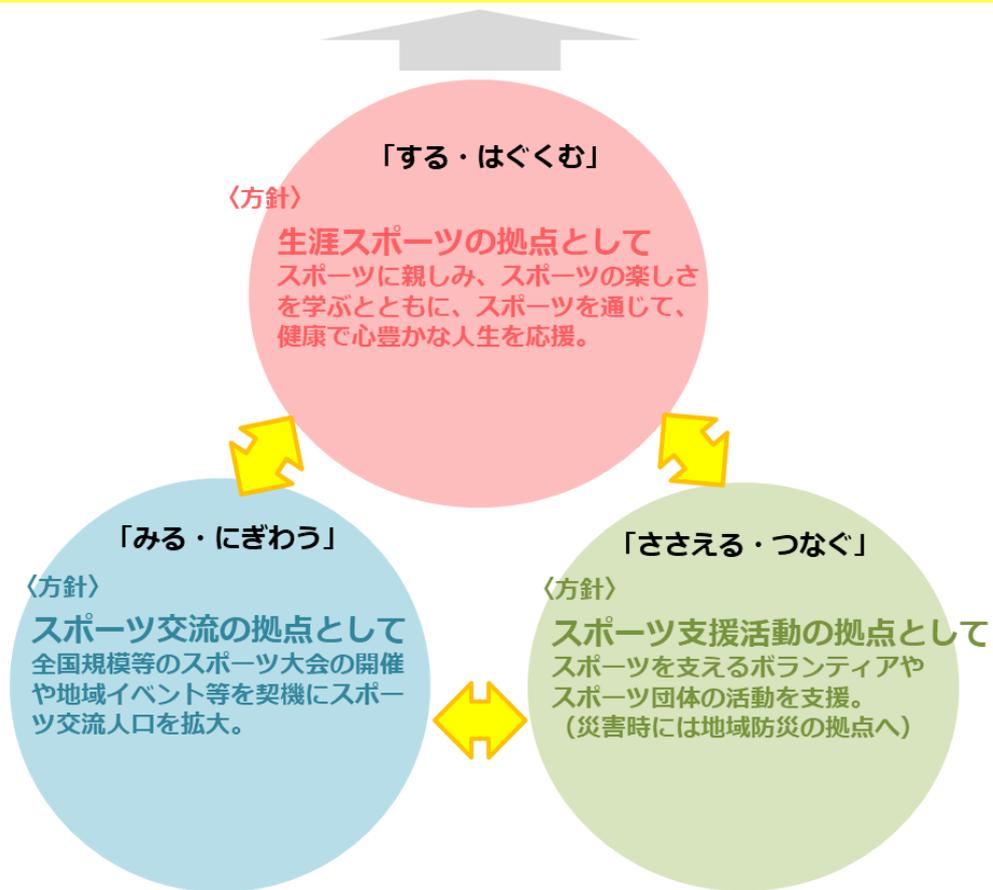
施 設	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
河北台健民体育館	59,732 人	83,273 人	92,209 人	95,283 人	91,866 人
七塚武道館	12,377 人	11,905 人	14,560 人	10,260 人	12,182 人
合 計	72,109 人	95,178 人	106,769 人	105,543 人	104,048 人

### 3) 目指すべき施設像

#### 【基本コンセプトと方針】

##### 〈基本コンセプト〉

**スポーツの素晴らしさを実感できる新たなスポーツ文化の拠点**  
**-スポーツによる賑いと活力のあるまちの創造-**



### 4) 施設の機能

①スポーツ機能・・・現状の体育館が有する機能の確保

分類	競技
球技	バスケットボール、バレーボール、バドミントン 卓球、ソフトテニス、その他
武道	柔道、剣道、相撲、弓道 等

②学校体育館機能・・・授業や部活動の利用機能の確保

③防災機能・・・「救援物資の集積場所」及び「緊急避難所」の機能の確保

④観戦機能・・・見るスポーツ、実感するスポーツの拠点としての機能拡大

## 5) 施設想定規模

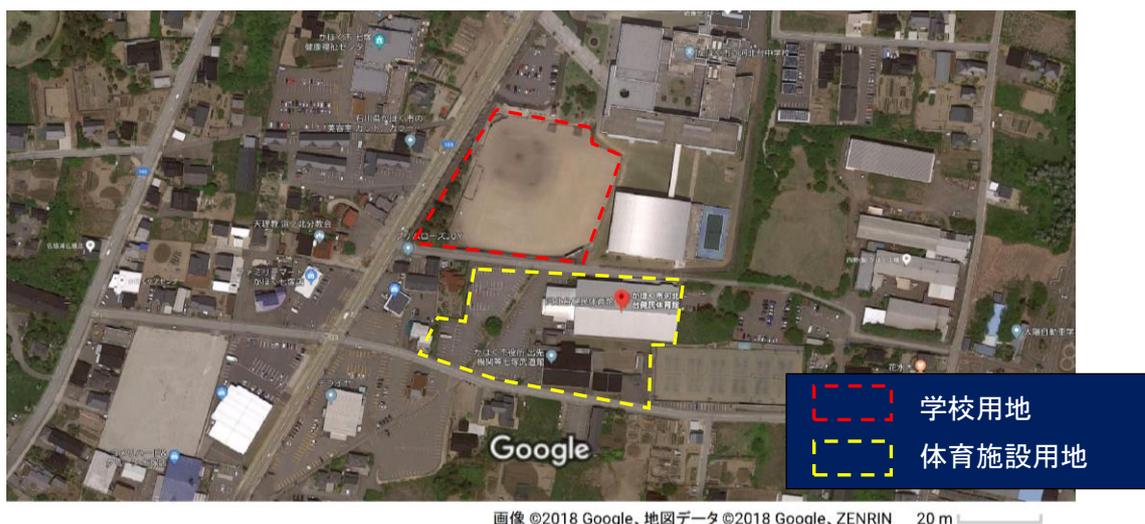
諸室等	規模	備考
メインアリーナ	バスケットボール2面、バレーボール3面、 バドミントン12面ができる面積を確保	
武道場（柔道場、剣道場、相撲場、弓道場）	柔道場2面、剣道場2面、相撲場1面、弓道場	
観覧席	2,500席～3,500席	Vリーグ対応
その他諸室	トレーニング室、スタジオ、会議室、キッズルーム等	

※サブアリーナとして現河北台体育館を利用

## 6) 施設整備の方針

- ・本施設は、新たに体育館を増設するものではなく、現状の河北台健民体育館、七塚武道館の建替えとして整備するものとします。
- ・河北台健民体育館は、年間約9万人以上の利用者があり、さらには、七塚武道館も含め両施設とも中学生の授業及び部活動でも使用されていることから、両施設を取り壊して建替えた場合には、建設期間中、多くの利用者や生徒等が施設を利用できなくなる。また、市内には同規模施設は存在せず代替え施設を確保することができない。
- ・また、防災機能として、河北台健民体育館は「救援物資の集積場所」「緊急避難場所」、七塚武道館は「緊急避難場所」に指定されており、取壊しての建設となると代替施設はなく、防災機能を維持できない。

計画地の現状



## 7) 施設の整備イメージ

現在、学校用地である野球場に体育館と武道館を複合した本施設を建設し、その後、現状の体育館等を取り壊し、跡地を野球場として整備する方針とする。



## 7) 駐車場について

駐車場は、総合体育館周辺に現状の130台+ $\alpha$ を確保し、七塚庁舎跡地を第2駐車場として150台程度を配置する。なお、その他、周辺施設等の約300台が利用可能。



9) 県内体育館の状況について

施設	駐車台数	施設内容	座席数
いしかわ総合スポーツセンター (石川県)	400 台	【メインアリーナ】 バスケットボール 4 面 バレーボール 4 面 バドミントン 16 面	5,000 席
金沢市総合体育館 (金沢市)	180 台	【メインアリーナ】 バスケットボール 3 面 バレーボール 3 面 バドミントン 14 面	2,340 席
小松市総合体育館 (小松市)	122 台	【第 1 体育館】 バスケットボール 2 面 バレーボール 2 面 バドミントン 10 面	1,500 席
一本松総合運動公園体育館 (輪島市)	200 台	バスケットボール 2 面 バレーボール 2 面 バドミントン 8 面	1,556 席
松任総合運動公園体育館 (白山市)	614 台	【メインアリーナ】 バスケットボール 3 面 バレーボール 3 面 バドミントン 8 面	1,200 席
津幡町総合体育館 (津幡町)	60 台	バスケットボール 2 面 バレーボール 2 面 バドミントン 6 面	250 席
津幡町運動公園体育館 (津幡町)	515 台	バスケットボール 2 面 バレーボール 2 面 バドミントン 8 面	500 席

※座席数は、固定席＋可動席（設置している場合のみ）の合計